

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	桜ファーマーズ2nd
住 所	熊本県宇城市松橋町松橋84番地5
電話番号	0964-27-4433

事業所番号	4312700836
管理者名	志垣 誠也
対象年度	令和6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		0
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	1	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点
期限内に提出していない場合：-50点		

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
125点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	17,335	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,985	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額		円	利用者に支払った賞金総額		円	収支	0	円
-----------------	--	---	--------------	--	---	----	---	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	11,978,994	円	利用者に支払った賞金総額	11,968,186	円	収支	10,808	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	16,411,358	円	利用者に支払った賞金総額	16,291,441	円	収支	119,917	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☐
------------------------------	--------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☐
------------------------	--------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☒
-------------------------	-------------------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名 虐待防止及び権利擁護	
研修講師 緒方 雅大	
実施日・受講者数 7月 13日 19人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☐
※研修、学会等名	
実施日 月 日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☐
※先進的事業者名	
実施日/参加者数 月 日 人	
※他の事業所名	
実施日/参加者数 月 日 人	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☐
※商談会等名	
主催者名	
日時 月 日	
内容	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☐
◎当該人事評価制度を周知している	☐
人事評価制度の制定日 年 月 日	
人事評価制度の対象職員数 名	
うち昇給・昇格を行った者 名	
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間 月 日～ 月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日 年 月 日	

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	桜ファーマーズ2nd	事業所番号	4312700836
住 所	熊本県宇城市松橋町松橋84番地5	管理者名	志垣 誠也
電話番号	0964-27-4433	対象年度	令和 6 年度

地域連携活動の概要	
<活動内容> 〈活動場所〉 株式会社さくらファーム・JSファーム株式会社・株式会社大島屋(工場) 〈実施日程〉 令和6年4月～現在まで 〈実施した生産活動・施設外就労の概要〉 ペットフード製造・JSファーム工場内での馬肉加工（計量・計数・袋詰め） 〈利用者数等〉 ペットフード製造 7名、その他の施設外就労 13名	<活動の様子> ペットフード加工/計量/袋詰め  原料加工/計量等  （加工品）パッキング/梱包 
<目的> 〈地域連携活動のねらい〉 他者との関わりを持つことで社会性を身につけ一般就労に向けての作業技術の向上を目指す。畜産と福祉の新たな共存の形の構築。 〈地域にとってのメリット〉 企業様に向けた人材不足の解消と施設同行職員による指導により人材教育に充てる時間の短縮を図れる。 〈対象者にとってのメリット〉 得手不得手を知り自身に適した作業を見出すことができる。また株式会社さくらファームでの正規雇用検討して頂いている為、一般就労へのステップアップが可能である。	
<成果> 〈実施した結果〉 関連企業より専門的な知識を持ったスタッフを出向してもらう事で支援員の技術面を完全にカバーでき生産性をあげることができた。 〈得られた成果〉 業務請負先の人材不足を桜ファーマーズ2nd利用者の作業により人員のカバーにて安定した作業の継続、生産性を高め企業及び地域社会への貢献ができた。 〈課題点〉 就労される利用者ニーズを叶えるため様々な作業内容の構築。	

連携先の企業等の意見または評価			
<連携した結果に対する意見または評価> さくらファームは創業以来、利用者の方々に作業工程の中で定量的・定性的な作業を担当していただいております。その結果、作業時間を重ねることで習熟度が向上し、作業効率や商品の品質が向上しています。また、直近でリリースした新商品への対応も十分に果たされており、既存商品で培った作業技術を応用する柔軟性も見られ、大変助かっています。現在では、さくらファームにとって欠かせない存在となっている利用者の方々も多くいらっしゃいます。 <今後の連携強化に向けた課題> さくらファームでは、生産量を更に増やすことを目標としています。そのためには、利用者の方々のさらなる技術向上と定着化、加えて人員増加が必要であり、これらが連携強化に向けた重要な課題と考えています。			
連携先企業名	株式会社 さくらファーム	担当者名	富田 大之

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	桜ファーマーズ2nd	事業所番号	4312700836
住 所	熊本県宇城市松橋町松橋84番地5	管理者名	志垣 誠也
電話番号	0964-27-4433	対象年度	令和 6 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

〈活動場所〉 桜ファーマーズ2nd

〈実施日程〉 令和6年4月1日～現在

〈実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要〉

事業所内での販売店の情報共有、作業工程、道具の選択を利用者の方と意見交換会を行う。様々な視点や特性に応じた作業配置をスタッフ、利用者の方と検討行う。

〈利用者数〉 20名

<目的>

〈利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい〉

利用される方が作る商品がどのような場所で販売されているか知り、買う側はどのようなクオリティを求められているかを知る。又、作業効率がよくなるための道具の選択を個々の利用者の方が行い、意見を引き出しやすい環境の整備を図る。意見交換を適宜行い、将来的に他者とのコミュニケーション力の構築や報連相が行える体制を整える。

〈利用者にとってのメリット〉

利用者の方が自分で考え、意見を出し合う事により能力の向上や仕事に対する姿勢や意識の変化を促す事が出来る。自分達で生み出し作り出していく事により、達成感に繋がり自信ややりがいを得ることが出来る。

<成果>

〈実施した結果・得られた成果〉

利用者の方が自信をもって家族や友人に作った商品の紹介ができていくが増えている。商品知識も増え道具の扱い方を学び、自身の特性に合わせた作業を選択し行うことが出来た。

〈課題点〉

商品によっては硬くてハサミで中々切れない事により他の道具を使用したことによる事故発生のリスクマネジメントが必要である

<活動の様子>

道具（工具）の選択

工具の取り扱い・工程の指導



商品選別（良品・不良品の判定）



商品に関する知識



連携先の企業や事業所等の意見または評価

利用者の方一人ひとりの個性（特性）に応じ作業の行程分けを行っている(計量、パッキング、カット)。個々の能力の向上に合わせて請負先に商品開発や販路の開拓を提案している。

連携先企業（担当者）

株式会社 さくらファーム 富田 大之

利用者からの意見・評価

- ・ 動物好きな人との会話が楽しくなった。
- ・ 椅子に座っての作業が多いため身体に障がいがあったとしても作業が出来嬉しく思う。
- ・ 生活リズムが良くなり体調が良くなった。
- ・ 掃除や片付けを皆でやる事で協力する意識がつき、家でも掃除をするようになった。
- ・ 専門的な知識が増え、道具の使い方や自分にあったやり方を見つけ出す事が出来た。